



危険物安全週間 6月5日(日)～同11日(土)

危険物を取り扱う関係事業所をはじめ、市民の皆さんに危険物に対する意識を高めてもらうことを目的に、全国一斉に毎年実施しています。

……… 身近にある危険物 ………

身の回りで使っている物(ガソリン、軽油、灯油、消毒用アルコール、塗料、アロマオイル、ヘアスプレーなど)に、次のような表示があれば、それは危険物です。

【例】火気厳禁 アルコール類 危険等級Ⅱ

※このような表示がある物は、火気の近くで使用したり、放置したりしないでください。

●甲種防火管理新規講習

📅 7月28日(木)、同29日(金) 定 90人

📍 みずほ文化センター(田原町)

📅 6月16日(木)～同23日(木)

※受講申込などについては、「(一社)日本防火防災協会」のホームページをご確認ください。

📍 彦根防火保安協会(消防本部消防総務課内)

☎ 22-0314 FAX 22-9427

< 給油時の注意事項 >

セルフ式ガソリンスタンドで、給油の手順や機器類の取り扱いを誤ると、思わぬ事故につながります。次の事項に十分注意して、安全な給油作業を行いましょう。

- ① 給油の前にはエンジンを切り、車が動かないようサイドブレーキを使用する。
- ② 給油する自動車に適した油種を確認する。
- ③ 「静電気除去シート」に触れてから給油口キャップを開ける。
- ④ 給油ノズルは止まるところまで差し込み、給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引いて給油を行う。
- ⑤ 燃料タンクが満タンになると自動的に給油が停止するので、それ以上の注ぎ足し給油はしない。
- ⑥ 給油後は、給油口キャップを確実に締める。

< ガソリンの携行 >

ガソリンの一時貯蔵などに使用する携行缶は、消防法令に適合したものを使用してください。

※セルフ式ガソリンスタンドでは、顧客が自らガソリンを携行缶などに注入することはできません。



テーマ展

6月20日(月)まで

「軍記物語の世界一語り継がれる名場面一」

平家物語など、戦を題材とした軍記物語。そこに描き出された登場人物の武勇や悲話などは、後世の美術工芸品や芸能に大きな影響を与えました。本展では、軍記物語にまつわるさまざまな作品を、館蔵品の中から紹介します。

テーマ展

6月23日(木)～7月20日(水)

「能を彩る道具一小道具と作り物一」

能において、中啓をはじめとする小道具や舞台に据える作り物は、演目の内容や登場人物の役柄を象徴する、上演に欠かせない重要な道具です。本展では、これら能を彩る道具の意味や役割を演目とともに紹介します。



▲赤地牡丹唐草図中啓

■スライドトーク

【日時】6月25日(土)14:00～(30分程度)

【解説】当館学芸員 【場所】講堂

※無料(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着35人、受付は13:30～)

講座

< 私の研究最前線 >

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究成果を踏まえて解説します。

6月18日(土)14:00～15:30

「井伊直亮の雅楽器収集

— 一大コレクションの形成 —

井伊家12代直亮(1794～1850)収集の雅楽器群は、日本有数のコレクションとして知られています。自身が記した詳細な目録「楽器類留」をもとに、その収集の様子を紹介します。



▲楽器類留 井伊直亮筆

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※資料代100円(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着35人、受付は13:30～)

■【休館日のお知らせ】6月21日(火)

■6月20日(月)、同22日(水)は、展示替えのため一部休室します。

チケット情報

ひこね市文化プラザ

9月23日(金・祝)14:00 グランドホール

ひこね市民大学特別講座 橋下徹講演会 「橋下徹の一刀両断!時局を斬る」



指定 [6月18日(土)9:00～予約開始]
一般2,500円

[6月11日(土)9:00～予約開始]
友の会2,200円

小学生以上

託児あり(有料・要予約)

38歳で大阪府知事に就任し、その後大阪市長、国政政党代表などを歴任。弁護士としても名高い橋下徹氏が、日本の未来を語ります。

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

6月の休館日：6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサボ滋賀」の表示の設置

みずほ文化センター

6月18日(土)14:00 多目的ホール ※2歳児以上有料
(子ども・大人同一料金)

人形劇団むすび座 おさんぼ劇場 「どんどこももんちゃん」「カミナリカレー」

自由 【好評発売中】前売500円、当日600円

7月18日(月・祝)14:00 多目的ホール

伝統芸能スペシャルライブ「名手共演」

民謡・津軽三味線・ 和太鼓・津軽手踊り



自由 【好評発売中】

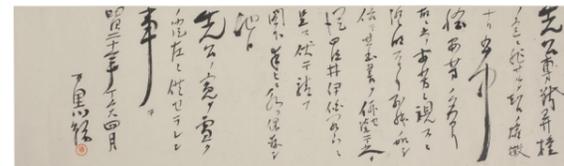
一般・前売2,000円、当日2,500円 小学生以上
青少年以下・前売1,000円、当日1,500円 託児あり(有料・要予約)

東京オリンピック2020閉会式で「東京音頭」を歌い全世界にその名を知られた民謡の名手・松田隆行をはじめ、津軽三味線・津軽手踊りの名手・織江 豊、和太鼓の名手・三浦公規が共演し、日本の音を伝えます。

申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00～17:00)

6月の休館日：7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。
子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。



▲石黒務書簡(末尾部分)

彦根藩士に生まれた石黒務(1840～1906)は、廃藩置県までは藩政に携わりました。その後は、地方の官職を勤め、明治14年(1881)には初代福井県令(同19年に福井県知事に改称)に就きました。それを辞した後は、井伊家世子の教養掛や、井伊家が経営していた彦根製糸場の監督になり、井伊家の近くで活動していました。

福井県知事を務めていた同20年4月、彼は井伊家に一通の書簡を送りました。

この書簡では、はじめに、13代将軍徳川家定の後継者を決める際のこと振り返られていた。候補として紀州藩の徳川慶福と一橋家の徳川慶喜の2人がいました。家定としては血縁関係の近い慶福を後継者にしたく、大老となった井伊直弼もその意向に沿って事を運んだのでした。

ところが明治20年ごろの世間では、大老であった井伊直弼の専断によって慶福が後継者に決められた、という話になっており、偽り甚だしいと石黒は述べています。加えて、家定正室・天璋院が「家定に親しくしていたら知って、石黒と

同趣旨の発言をしていることも引き合いに出しています。

続いて、福井藩主・松平慶永に宛てた薩摩藩主・島津斉彬真筆の書状などを、旧福井藩士の家で見つけたことに話が進みます。そこには、慶喜を後継者にしようとする運動も、家定や大奥に反対されている状況が記されていました。

井伊直弼が専断で慶福を後継者に決めたのではないことが分かる確かな証拠だとして、井伊家に送るので永く保存して直弼の冤罪を晴らす証拠としてほしい、と記して書簡を終えています。

石黒は、これ以外にも、旧彦根藩士の家で古文書を見たり、井伊家当主の書状などを購入したりしています。時代も幕末に限らず、さまざまなものを集めており、興味は広がったようです。

その中で、この書簡の場合は、同時代を生きていたことによる特徴が見えます。天璋院が自身で見聞きしたことによっているのと同じように、石黒本人も彦根藩士という比較的現場に近い立場でリアルタイムに情報に接していたことでしょう。それに基づいた幕末政治情勢の理解でしょうし、なにより、井伊直弼の冤罪を晴らすという、旧彦根藩士ならではの思いが伝わってきます。

彦根城博物館学芸員 早川駿治

写真の古文書は、常設展示「古文書が語る世界」で、6月22日(水)～8月31日(水)に展示します。

旧彦根藩士による史料収集 — 石黒務の場合 —

とまの玉手箱

博物館からのメッセージ